

東京書籍「新編論理国語」（論国 002-901）

■「最初のペンギン」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③展開の把握 読(1) ア	・主題の提示→展開Ⅰ→展開Ⅱ→結論（再説）という構成を整理して指摘し、説明している。	・主題の提示→展開Ⅰ→展開Ⅱ→結論（再説）という構成を整理して指摘している。	・主題の提示→展開Ⅰ→展開Ⅱ→結論（再説）という構成を整理して指摘していない。
	④キーワード把握 読(1) ア	・「最初のペンギン」という言葉について、ペンギンの行動の意味と、人間の置かれた状況を重ね合わせて理解したうえで、この言葉が示すものを読み取り、説明している。	・「最初のペンギン」という言葉について、ペンギンの行動の意味と、人間の置かれた状況を重ね合わせて理解したうえで、この言葉が示すものを読み取っている。	・「最初のペンギン」という言葉について、ペンギンの行動の意味と、人間の置かれた状況を重ね合わせて理解したうえで、この言葉が示すものを読み取っていない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・「感情のシステム」「感情のニュアンス」「感情の技術」等の特異な用法が何を意味するのかを読み取り、説明している。 ・「最初のペンギン」と「創造的な人間」との共通点を読み取り、本文の主題に結び付けて理解し、説明している。 ・筆者の「創造」についての見解を正確に読み取り、本文の要点をつかみ、説明している。	・「感情のシステム」「感情のニュアンス」「感情の技術」等の特異な用法が何を意味するのかを読み取っている。 ・「最初のペンギン」と「創造的な人間」との共通点を読み取り、本文の主題に結び付けて理解している。 ・筆者の「創造」についての見解を正確に読み取り、本文の要点をつかんでいる。	・「感情のシステム」「感情のニュアンス」「感情の技術」等の特異な用法が何を意味するのかを読み取っていない。 ・「最初のペンギン」と「創造的な人間」との共通点を読み取り、本文の主題に結び付けて理解していない。 ・筆者の「創造」についての見解を正確に読み取っていないか、読み取っていても本文の要点をつかんでいない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑥筆者の意図の 解釈 読（１）エ	・「人間」と「神」、「人間」と「コンピューター」等の対立図式を用いた筆者の意図を推測し、主題を的確につかみ、説明している。	・「人間」と「神」、「人間」と「コンピューター」等の対立図式を用いた筆者の意図を推測し、主題を的確につかんでいる。	・「人間」と「神」、「人間」と「コンピューター」等の対立図式を用いた筆者の意図を推測していないか、推測していても主題を的確につかんでいない。
	⑦考えの形成 読（１）カ	・既に創造されたものが「存在することがあまりにもあたりまえ」になったことの意味について、身近なものの中から例を挙げ、それがなかったときの状況について、他の情報や自分の経験と関連づけて、その創造の意義について考えを深め、説明している。 ・筆者がこの文章で伝えたかったことについて、本文の例示を踏まえて読み取ったことから考えを深め、説明している。	・既に創造されたものが「存在することがあまりにもあたりまえ」になったことの意味について、身近なものの中から例を挙げ、それがなかったときの状況について、他の情報や自分の経験と関連づけて、その創造の意義について考えを深めている。 ・筆者がこの文章で伝えたかったことについて、本文の例示を踏まえて読み取ったことから考えを深めている。	・既に創造されたものが「存在することがあまりにもあたりまえ」になったことの意味について、身近なものの中から例を挙げていないか、例を挙げていてもそれがなかったときの状況について、他の情報や自分の経験と関連づけて、その創造の意義について考えを深めていない。 ・筆者がこの文章で伝えたかったことについて、本文の例示を踏まえて読み取ったことから考えを深めていない。
	⑧情報の収集 書（１）ア	・筆者が伝えたかったことを文章にまとめるために、本文から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・筆者が伝えたかったことを文章にまとめるために、本文から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・筆者が伝えたかったことを文章にまとめるために、本文から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。
	⑨表現の検討 書（１）オ	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
	⑩学習への態度	・タイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、自分の経験を振り返り、これからの生き方について考えを深め、説明しようとしている。	・タイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、自分の経験を振り返り、これからの生き方について考えを深めようとしている。	・タイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、自分の経験を振り返り、これからの生き方について考えを深めようとしていない。

■「豊かさと生物多様性」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③展開の把握 読(1) ア	・三つの意味段落でそれぞれ述べられている筆者の考えを整理し、全体の構成を把握し、説明している。	・三つの意味段落でそれぞれ述べられている筆者の考えを整理し、全体の構成を把握している。	・三つの意味段落でそれぞれ述べられている筆者の考えを整理していないか、整理していても全体の構成を把握していない。
	④内容把握 読(1) ア	・二つの「生物多様性を大切にする発想」についての筆者の見解を、社会通念と比較対照して読み取り、説明している。 ・「南北問題」の要点をまとめ、「生物多様性」との関係についての筆者の見解を的確に読み取り、説明している。 ・「量だけで価値判断するやり方」とは具体的にどのようなことか理解し、説明している。 ・「質と量」における価値判断を、前提としている社会通念と比較しながら読み取り、筆者の述べる「豊かさの捉え方」を理解し、説明している。	・二つの「生物多様性を大切にする発想」についての筆者の見解を、社会通念と比較対照して読み取っている。 ・「南北問題」の要点をまとめ、「生物多様性」との関係についての筆者の見解を的確に読み取っている。 ・「量だけで価値判断するやり方」とは具体的にどのようなことか、理解している。 ・「質と量」における価値判断を、前提としている社会通念と比較しながら読み取り、筆者の述べる「豊かさの捉え方」を理解している。	・二つの「生物多様性を大切にする発想」についての筆者の見解を、社会通念と比較対照して読み取っていない。 ・「南北問題」の要点をまとめ、「生物多様性」との関係についての筆者の見解を読み取っていない。 ・「量だけで価値判断するやり方」とは具体的にどのようなことか、理解していない。 ・「質と量」における価値判断を、前提としている社会通念と比較しながら読み取り、筆者の述べる「豊かさの捉え方」を理解していない。

	⑤根拠の検討 読（１）ウ	・筆者の主張を支える具体例などの根拠や、筆者の思考過程について検討し、疑問点を挙げて、説明している。	・筆者の主張を支える具体例などの根拠や、筆者の思考過程について検討し、疑問点を挙げている。	・筆者の主張を支える具体例などの根拠や、筆者の思考過程について検討していないか、検討していても疑問点を挙げていない。
	⑥情報検討と考察 読（１）キ	・「生物多様性の保全」のための取り組みについての資料を収集・整理し、それらについて読み取って考察したことをまとめ、説明している。	・「生物多様性の保全」のための取り組みについての資料を収集・整理し、それらについて読み取って考察したことをまとめている。	・「生物多様性の保全」のための取り組みについての資料を収集・整理し、それらについて読み取って考察したことをまとめていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑦学習への態度	・「生物多様性」の重要性と課題について、筆者の主張を踏まえたうえで、自分で収集した資料から読み取って考えたことについて理解を深め、説明しようとしている。	・「生物多様性」の重要性と課題について、筆者の主張を踏まえたうえで、自分で収集した資料から読み取って考えたことについて理解を深めようとしている。	・「生物多様性」の重要性と課題について、筆者の主張を踏まえたうえで、自分で収集した資料から読み取って考えたことについて理解を深めようとしていない。

■「もどかしいまを口にする」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 - 筆者の主張と例示の関係を指摘することで、文章の構成について把握し、説明している。	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 - 筆者の主張と例示の関係を指摘することで、文章の構成について把握している。	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 - 筆者の主張と例示の関係を指摘していないか、指摘していても文章の構成について把握していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	- 論理的といわれる話し方をしたときに、どのようなことが起こると筆者が考えているかを読み取り、説明している。 - 本筋から離れた内容だと捉えられそうな内容が持つ意味について、筆者の考え方を読み取り、説明している。 「ある」「ない」で分けられるような整然とした話し方についての筆者の主張を読み取り、説明している。 「論理的に整理して分かりやすくするべきだ」という主張に対して、筆者の考えを踏まえながら反論をまとめ、根拠をもって説明している。	- 論理的といわれる話し方をしたときに、どのようなことが起こると筆者が考えているかを読み取っている。 - 本筋から離れた内容だと捉えられそうな内容が持つ意味について、筆者の考え方を読み取っている。 「ある」「ない」で分けられるような整然とした話し方についての筆者の主張を読み取っている。 「論理的に整理して分かりやすくするべきだ」という主張に対して、筆者の考えを踏まえながら反論をまとめている。	- 論理的といわれる話し方をしたときに、どのようなことが起こると筆者が考えているかを読み取っていない。 - 本筋から離れた内容だと捉えられそうな内容が持つ意味について、筆者の考え方を読み取っていない。 「ある」「ない」で分けられるような整然とした話し方についての筆者の主張を読み取っていない。 「論理的に整理して分かりやすくするべきだ」という主張に対して、筆者の考えを踏まえながら反論をまとめている。

	④筆者の意図の解釈 読（１）エ	・筆者が主張を展開するにあたり、比喻表現や具体例を多用する意図を推測し、その表現の効果について理解し、根拠とともに説明している。	・筆者が主張を展開するにあたり、比喻表現や具体例を多用する意図を推測し、その表現の効果について理解している。	・筆者が主張を展開するにあたり、比喻表現や具体例を多用する意図を推測し、その表現の効果について理解していない。
	⑤考えの形成 読（１）カ	・筆者の主張を踏まえて、「論理的な話し方」が望ましい場合と、「もどかしさに縁取られた語り」が望ましい場合について考えを深め、根拠をもって説明している。 ・筆者の立場を理解し、筆者が山口さんにしたと考えられる質問を作り、根拠をもって説明している。	・筆者の主張を踏まえて、「論理的な話し方」が望ましい場合と、「もどかしさに縁取られた語り」が望ましい場合について考えを深めている。 ・筆者の立場を理解し、筆者が山口さんにしたと考えられる質問を作っている。	・筆者の主張を踏まえて、「論理的な話し方」が望ましい場合と、「もどかしさに縁取られた語り」が望ましい場合について考えを深めていない。 ・筆者の立場を理解し、筆者が山口さんにしたと考えられる質問を作っていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥学習への態度	・比喻や具体例を整理して筆者の主張を読み取り、論理的に話すこととそうでないことの違いを理解し、体験を語ることについての自分の考えを深め、説明しようとしている。	・比喻や具体例を整理して筆者の主張を読み取り、論理的に話すこととそうでないことの違いを理解し、体験を語ることについての自分の考えを深めようとしている。	・比喻や具体例を整理して筆者の主張を読み取り、論理的に話すこととそうでないことの違いを理解していないか、理解していても体験を語ることについての自分の考えを深めようとしていない。

■「カフェの開店準備」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③構成の把握 読(1) ア	・具体的な体験から導き出されている普遍的な構造を的確に捉え、説明している。	・具体的な体験から導き出されている普遍的な構造を的確に捉えている。	・具体的な体験から導き出されている普遍的な構造を的確に捉えていない。
	④キーワード把握 読(1) ア	・「カフェの開店準備」という行為の意味と、その行為と目的の関係の構造についての筆者の考えを整理して指摘し、説明している。	・「カフェの開店準備」という行為の意味と、その行為と目的の関係の構造についての筆者の考えを整理して指摘している。	・「カフェの開店準備」という行為の意味と、その行為と目的の関係の構造についての筆者の考えを整理していない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・「ふだん隠れている、見えない行為」とは、具体的にどのようなものか理解し、説明している。 ・楽器の演奏における「目的と行為」の一致についての的確に読み取り、筆者の「本番」および「現在」についての捉え方を理解し、説明している。 ・「行為」の「習慣化」に対する筆者の考えを、自分の経験を踏まえたうえで理解し、説明している。 ・「痕跡が残らない」行為とそれに対比される行為に対する筆者の考えを理解し、説明している。	・「ふだん隠れている、見えない行為」とは、具体的にどのようなものか理解している。 ・楽器の演奏における「目的と行為」の一致についての的確に読み取り、筆者の「本番」および「現在」についての捉え方を理解している。 ・「行為」の「習慣化」に対する筆者の考えを、自分の経験を踏まえたうえで理解している。 ・「痕跡が残らない」行為とそれに対比される行為に対する筆者の考えを理解している。	・「ふだん隠れている、見えない行為」とは、具体的にどのようなものか理解していない。 ・楽器の演奏における「目的と行為」の一致についての的確に読み取っていないか、読み取っていても、筆者の「本番」および「現在」についての捉え方を理解していない。 ・「行為」の「習慣化」に対する筆者の考えを、自分の経験を踏まえたうえで理解していない。 ・「痕跡が残らない」行為とそれに対比される行為に対する筆者の考えを理解していない。

	⑥筆者の意図の解釈 読（１）エ	・ 普遍的な構造を、さまざまな具体例に当てはめて説明する論の進め方を用いた筆者の意図について推測し、その効果を理解し、説明している。	・ 普遍的な構造を、さまざまな具体例に当てはめて説明する論の進め方を用いた筆者の意図について推測し、その効果を理解している。	・ 普遍的な構造を、さまざまな具体例に当てはめて説明する論の進め方を用いた筆者の意図について推測していないか、推測していてもその効果を理解していない。
	⑦情報の収集 書（１）ア	・ 筆者の主張を踏まえ、自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・ 筆者の主張を踏まえ、自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験から情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・ 筆者の主張を踏まえて自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験から情報を収集・整理していないか、整理だけにとどまり、根拠となる題材を選んでいる。
	⑧根拠の検討 書（１）エ	・ 自分の考えを文章にまとめるために、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討し、説明している。	・ 自分の考えを文章にまとめるために、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討している。	・ 自分の考えを文章にまとめるために、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討していない。
	⑨表現の検討 書（１）オ	・ 自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・ 自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・ 自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑩学習への態度	・ 具体例を通して筆者の思考を理解し、自分の経験を振り返って日常生活の在り方についての考えを深め、説明しようとしている。	・ 具体例を通して筆者の思考を理解し、自分の経験を振り返って日常生活の在り方についての考えを深めようとしている。	・ 具体例を通して筆者の思考を理解し、自分の経験を振り返って日常生活の在り方についての考えを深めようとしていない。

■「〔書く〕短い論文を書いて読み合おう」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①論の形式 〔1〕エ	・社会的問題に対する自分の意見を明快に示すための論文の構成を理解し、説明している。	・社会問題に対する自分の意見を明快に示すための論文の構成を理解している。	・社会問題に対する自分の意見を明快に示すための論文の構成を理解していない。
	②情報の理解 〔2〕ア	・複数の情報に対して、根拠や論拠を対比的に検討することによって、論点を明確にすることを理解し、説明している。	・複数の情報に対して、根拠や論拠を対比的に検討することによって、論点を明確にすることを理解している。	・複数の情報に対して、根拠や論拠を対比的に検討することによって、論点を明確にすることを理解していない。
思考・判断・表現	③題材設定と情報収集 書〔1〕ア	・論文を書く目的に応じて、情報を収集・分類・比較・関係づけし、論じる視点に応じて適切な題材を選び、その理由を説明している。	・論文を書く目的に応じて、情報を収集・分類・比較・関係づけし、論じる視点に応じて適切な題材を選んでいる。	・論文を書く目的に応じて、情報を収集・分類・比較・関係づけし、論じる視点に応じて適切な題材を選んでいない。
	④構成の検討 書〔1〕ウ	・自分の意見を明快に示すために、文章全体の構成を把握し、論理の展開に飛躍がないかなど、自分なりの考えを持って検討し、説明している。	・自分の意見を明快に示すために、文章全体の構成を把握し、論理の展開に飛躍がないかなど、自分なりの考えを持って検討している。	・自分の意見を明快に示すために、文章全体の構成を把握し、論理の展開に飛躍がないかなど、自分なりの考えを持って検討していない。
	⑤吟味・推敲 書〔1〕カ	・よりよい論文にするために、他者との意見交換を踏まえて、自分の文章を書き手と読み手の立場から捉え直し、推敲している。	・よりよい論文にするために、他者との意見交換を踏まえて、自分の文章を推敲している。	・よりよい論文にするために、他者との意見交換を踏まえて、自分の文章を推敲していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥学習への態度	・社会問題について自分の考えをまとめた論文を書き、意見交換を踏まえて推敲する活動に積極的に取り組み、よりよい論文に仕上げようとしている。	・社会問題について自分の考えをまとめた論文を書き、意見交換を踏まえて推敲する活動に積極的に取り組んでいる。	・社会問題について自分の考えをまとめた論文を書き、意見交換を踏まえて推敲する活動に積極的に取り組んでいない。

■「科学的『発見』とは」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の要約表現や価値判断を示す語句、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・事例・根拠と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。	・文章の要約表現や価値判断を示す語句、接続の仕方を理解している。 ・事例・根拠と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解している。	・文章の要約表現や価値判断を示す語句、接続の仕方を理解していない。 ・事例・根拠と主張の関係を確認しながら読み取らず、筆者の主張を理解していない。
	③評論キーワード (1) イ	・「主体」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。	・「主体」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。	・「主体」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④構成の把握 読(1) イ	・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけ、その根拠について説明している。 ・段落間のつながりを踏まえ、本文に通底する大きな「問い」と筆者の中心的な主張（答え）を読み取り、端的に説明している。	・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけている。 ・段落間のつながりを踏まえ、本文に通底する大きな「問い」と筆者の中心的な主張（答え）を読み取っている。	・各意味段落の内容を踏まえた適切な小見出しをつけていない。 ・段落間のつながりを踏まえ、本文に通底する大きな「問い」と筆者の中心的な主張（答え）を読み取っていない。
	⑤内容と構成 読(1) イ	・「事実を観察すること」について、「単純ではない」とする筆者の考えを読み取り、自身の経験も踏まえて、根拠を示しながら説明している。 ・「見るということ」と観察者の背景知識の関連性を読み取り、説明している。	・「事実を観察すること」について、「単純ではない」とする筆者の考えを、自身の経験も踏まえながら読み取っている。 ・「見るということ」と観察者の背景知識の関連性を読み取っている。	・「事実を観察すること」について、「単純ではない」とする筆者の考えを自身の経験も踏まえず読み取っていない。 ・「見るということ」と観察者の背景知識の関連性を読み取っていない。

		・「科学的『発見』とは」どのようなものかを、事例との関係性から読み取り、説明している。 ・文章と資料を相互に関連づけながら、筆者の主張を理解し、説明している。	・「科学的『発見』とは」どのようなものかを、事例との関係性から読み取っている。 ・文章と資料を相互に関連づけながら、筆者の主張を理解している。	・「科学的『発見』とは」どのようなものかを、事例との関係性から読み取っていない。 ・文章と資料を関連づけず、筆者の主張を理解していない。
	⑥考えの形成 読（１）カ	・筆者の主張と、科学的見地に立った他の文章を相互に関連づけながら、「科学的視点」についての自分の考えを深め、根拠をもって説明している。	・筆者の主張と、科学的見地に立った他の文章を相互に関連づけながら、「科学的視点」についての自分の考えを深めている。	・筆者の主張と、科学的見地に立った他の文章を相互に関連づけず、「科学的視点」についての自分の考えを深めていない。
	⑦表現の特徴の理解 読（１）イ	・二つの課題を迫体験して理解したことをもとに、図を示した筆者の意図を読み取り、資料が主張に果たす役割をつかみ、説明している。 ・筆者の主張を説明するための図や画像を探し、適切に活用して説明している。 ・「…ではなく…」という対比的な否定表現と、それがもたらす表現効果について理解し、説明している。	・二つの課題を迫体験して理解したことをもとに、図を示した筆者の意図を読み取り、資料が主張に果たす役割をつかんでいる。 ・筆者の主張を説明するための図や画像を探し、説明している。 ・「…ではなく…」という対比的な否定表現と、それがもたらす表現効果について理解している。	・二つの課題を迫体験して理解したことをもとに、図を示した筆者の意図を読み取っておらず、資料が主張に果たす役割をつかんでいない。 ・筆者の主張を説明するための図や画像を探していない。 ・「…ではなく…」という対比的な否定表現と、それがもたらす表現効果について理解していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑧学習への態度	・本文の理解を踏まえて、「見る」ということに対する通念を見つめ直し、科学的見地に立ったものの見方について、自分の考えを深め、説明しようとしている。	・本文の理解を踏まえて、「見る」ということに対する通念を見つめ直し、科学的見地に立ったものの見方について、自分の考えを深めようとしている。	・本文の理解を踏まえて、「見る」ということに対する通念を見つめ直さず、科学的見地に立ったものの見方について、自分の考えを深めようとしていない。

■「ロボットが隣人になるとき」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③展開の把握 読(1) ア	・接続表現に留意し、段落相互の関係を把握したうえで、論理の展開を的確に捉え、根拠とともに説明している。	・接続表現に留意し、段落相互の関係を把握したうえで、論理の展開を的確に捉えている。	・接続表現に留意し、段落相互の関係を把握したうえで、論理の展開を的確に捉えていない。
	④キーワード把握 読(1) ア	・筆者の考える「意志」「自由意志」「自由」という言葉について、具体例から読み取り理解したうえで、根拠をもって説明している。	・筆者の考える「意志」「自由意志」「自由」という言葉について、具体例から読み取り理解している。	・筆者の考える「意志」「自由意志」「自由」という言葉について、具体例から読み取り理解していない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・「自分の意志で自由に行動するロボットは作れるだろうか」という問いが「技術の問題ではない」と筆者が述べる理由を、具体例を踏まえて読み取り、説明している。 ・AI が、ロボットが「自由意志」を持つということを支持する積極的な根拠たりえないとする筆者の考えを読み取り、説明している。 ・「社会的な存在」としてのロボットに対する筆者の考えを読み取り、根拠とともに説明している。	・「自分の意志で自由に行動するロボットは作れるだろうか」という問いが「技術の問題ではない」と筆者が述べる理由を、具体例を踏まえて読み取っている。 ・AI が、ロボットが「自由意志」を持つということを支持する積極的な根拠たりえないとする筆者の考えを読み取っている。 ・「社会的な存在」としてのロボットに対する筆者の考えを読み取っている。	・「自分の意志で自由に行動するロボットは作れるだろうか」という問いが「技術の問題ではない」と筆者が述べる理由を、具体例を踏まえて読み取っていない。 ・AI が、ロボットが「自由意志」を持つということを支持する積極的な根拠たりえないとする筆者の考えを読み取っていない。 ・「社会的な存在」としてのロボットに対する筆者の考えを読み取っていない。

		・「対等の隣人」としての「自分の意志で自由に行動するロボット」とはどのようなロボットなのか、具体例や筆者の考えを読み取りまとめ、説明している。	・「対等の隣人」としての「自分の意志で自由に行動するロボット」とはどのようなロボットなのか、具体例や筆者の考えを読み取りまとめている。	・「対等の隣人」としての「自分の意志で自由に行動するロボット」とはどのようなロボットなのか、具体例や筆者の考えを読み取りまとめていない。
	⑥根拠の検討 読（１）ウ	・筆者の主張を支える具体例などの根拠や論理の展開の仕方について、批判的に検討し、疑問点を挙げて反論し、自分の考えを深めている。	・筆者の主張を支える具体例などの根拠や論理の展開の仕方について、批判的に検討し、疑問点を挙げて反論している。	・筆者の主張を支える具体例などの根拠や論理の展開の仕方について、批判的に検討していないか、検討していても疑問点を挙げて反論していない。
	⑦考えの形成 読（１）カ	・本文の論証を踏まえ、人間の意志や自由について、自分の既存の知識や経験、話し合いなどで得た他者の考えや価値観などとも結び付け、自分の考えを見つめ直してまとめたことを示している。	・本文の論証を踏まえ、人間の意志や自由について、自分の既存の知識や経験、話し合いなどで得た他者の考えや価値観などとも結び付け、自分の考えを見つめ直している。	・本文の論証を踏まえ、人間の意志や自由について、自分の既存の知識や経験、話し合いなどで得た他者の考えや価値観などと結び付け、自分の考えを見つめ直していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑧学習への態度	・筆者が考えるような「ロボット」の存在について、本文の論証を踏まえたうえで、人間の意志や自由について考えを深め、説明しようとしている。	・筆者が考えるような「ロボット」の存在について、本文の論証を踏まえたうえで、人間の意志や自由について考えを深めようとしている。	・筆者が考えるような「ロボット」の存在について、本文の論証を踏まえたうえで、人間の意志や自由について考えを深めようとしていない。

■「言葉は『ものの名前』ではない」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③展開の把握 読(1) ア	・具体例や引用と、筆者の考えや主張との関係を読み取り、本文の概要を理解し、根拠とともに説明している。 ・段落間のつながりを踏まえ、本文の中心的な「問い」と筆者の中心的な主張を読み取り、端的にまとめ、説明している。	・具体例や引用と、筆者の考えや主張との関係を読み取り、本文の概要を理解している。 ・段落間のつながりを踏まえ、本文の中心的な「問い」と筆者の中心的な主張を読み取り、端的にまとめている。	・具体例や引用と、筆者の考えや主張との関係を読み取り、本文の概要を理解していない。 ・段落間のつながりを踏まえ、本文の中心的な「問い」と筆者の中心的な主張を読み取り、端的にまとめていない。
	④キーワード把握 読(1) ア	・「ギリシャ以来の伝統的な言語観」と「ソーシャル」の言語観のそれぞれについての筆者の考えを、具体例やたとえをもとに理解し、根拠をもって説明している。	・「ギリシャ以来の伝統的な言語観」と「ソーシャル」の言語観のそれぞれについての筆者の考えを、具体例やたとえをもとに理解している。	・「ギリシャ以来の伝統的な言語観」と「ソーシャル」の言語観のそれぞれについての筆者の考えを、具体例やたとえをもとに理解していない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・「名付けられること」と、「もの」の「實在」に対する筆者の疑問を、具体例から読み取り、説明している。 ・日本語と英語の場合の具体例から、筆者の述べる「意味の幅」について理解し、説明している。	・「名付けられること」と、「もの」の「實在」に対する筆者の疑問を、具体例から読み取っている。 ・日本語と英語の場合の具体例から、筆者の述べる「意味の幅」について理解している。	・「名付けられること」と、「もの」の「實在」に対する筆者の疑問を、具体例から読み取っていない。 ・日本語と英語の場合の具体例から、筆者の述べる「意味の幅」について理解していない。

主体的に 学習に取り組む 態度		・ ソシユールのいう「価値」について理解し、 星座のたとえをもとに、ソシユールの言語観 を読み取り、根拠をもって説明している。	・ ソシユールのいう「価値」について理解し、 星座のたとえをもとに、ソシユールの言語観 を読み取っている。	・ ソシユールのいう「価値」について理解し、 星座のたとえをもとに、ソシユールの言語観 を読み取っていない。
	⑥根拠の検討 読（１）ウ	・ 筆者の言語についての考え方や主張につい て、それを支える具体例などの根拠を筆者の 論旨に沿って検討し、疑問点を挙げて、説明 している。	・ 筆者の言語についての考え方や主張につい て、それを支える具体例などの根拠を筆者の 論旨に沿って検討し、疑問点を挙げている。	・ 筆者の言語についての考え方や主張につい て、それを支える具体例などの根拠を筆者の 論旨に沿って検討していないか、検討してい ても疑問点を挙げていない。
	⑦考えの形成 読（１）カ	・ 言葉と認識の関係や言葉の働きについて、筆 者の主張を踏まえたうえで、既存の知識や自 分の経験、話し合いなどで得た他者の意見な どと結び付け、自分の考えを見つめ直してま とめたことを示している。	・ 言葉と認識の関係や言葉の働きについて、筆 者の主張を踏まえたうえで、既存の知識や自 分の経験、話し合いなどで得た他者の意見な どと結び付け、自分の考えを見つめ直してい る。	・ 言葉と認識の関係や言葉の働きについて、筆 者の主張を踏まえたうえで、既存の知識や自 分の経験、話し合いなどで得た他者の意見な どと結び付け、自分の考えを見つめ直してい ない。
	⑧学習への態度	・ 言語と認識の関係についての筆者の主張を踏 まえて、言葉の働きについて考えを深め、説 明しようとしている。	・ 言語と認識の関係についての筆者の主張を踏 まえて、言葉の働きについて考えを深めよう としている。	・ 言語と認識の関係についての筆者の主張を踏 まえて、言葉の働きについて考えを深めよう としていない。

■「おいしさの言語化」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 ・「例示」を表す表現を整理し、それがもたらす表現の効果について理解し、説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 ・「例示」を表す表現を整理し、それがもたらす表現の効果について理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 ・「例示」を表す表現を整理し、それがもたらす表現の効果について理解していない。
思考・判断・表現	③内容把握 読(1) ア	・体験を言葉にすべきではないという意見についての筆者の考えを読み取り、説明している。 ・体験を言葉にするときにかかる問題とその解決策について、筆者の考えを読み取り、説明している。 ・筆者が考える「言葉が果たす役割」について読み取り、説明している。	・体験を言葉にすべきではないという意見についての筆者の考えを読み取っている。 ・体験を言葉にするときにかかる問題とその解決策について、筆者の考えを読み取っている。 ・筆者が考える「言葉が果たす役割」について読み取っている。	・体験を言葉にすべきではないという意見についての筆者の考えを読み取っていない。 ・体験を言葉にするときにかかる問題とその解決策について、筆者の考えを読み取っていない。 ・筆者が考える「言葉が果たす役割」について読み取っていない。
	④根拠の検討 読(1) ウ	・筆者の主張を支える具体例などの根拠や、筆者の思考過程について吟味し、理解して説明している。	・筆者の主張を支える具体例などの根拠や、筆者の思考過程について吟味し、理解している。	・筆者の主張を支える具体例などの根拠や、筆者の思考過程について吟味していないか、吟味していても理解していない。
	⑤筆者の意図の解釈 読(1) エ	・問いや根拠を提示しながら論を進めていく筆者の意図を推察し、その効果を検討して説明している。	・問いや根拠を提示しながら論を進めていく筆者の意図を推察し、その効果を検討している。	・問いや根拠を提示しながら論を進めていく筆者の意図を推察していないか、推察してもその効果を検討していない。
	⑥情報の収集 書(1) ア	・筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験や他者の意見から必	・筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験や他者の意見から情	・筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめるために、自身の経験や他者の意見から情

		要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	報を収集・整理していないか、整理だけにとどまり、根拠となる題材を選んでいない。
	⑦情報の検討 書(1)イ	・筆者の主張を踏まえ、各情報の共通点や相違点、相互関係を整理して吟味し、根拠が適切かどうか検討して説明している。	・筆者の主張を踏まえ、各情報の共通点や相違点、相互関係を整理して吟味し、根拠が適切かどうか検討している。	・筆者の主張を踏まえ、各情報の共通点や相違点、相互関係を整理して吟味し、根拠が適切かどうか検討していない。
	⑧表現の検討 書(1)オ	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑨学習への態度	・「言葉が果たす役割」についての筆者の考えを踏まえて、自分の体験と結びつけて、言語化の役割についての考えを深め、説明しようとしている。	・「言葉が果たす役割」についての筆者の考えを踏まえて、自分の体験と結びつけて、言語化の役割についての考えを深めようとしている。	・「言葉が果たす役割」についての筆者の考えを踏まえて、自分の体験と結びつけて、言語化の役割についての考えを深めようとしていない。

■「図表の読み取り方」「〔書く〕資料を活用して論述しよう」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①論の形式 (1)エ	- 小論文の基本的な構成や、各段落の中心文を明確にして文章全体の論旨が分かりやすくなる段落構造を理解し、説明している。 - 収集した資料を用いながら、論述の文章を展開する方法を理解し、説明している。	- 小論文の基本的な構成や、各段落の中心文を明確にして文章全体の論旨が分かりやすくなる段落構造を理解している。 - 収集した資料を用いながら、論述の文章を展開する方法を理解している。	- 小論文の基本的な構成や、各段落の中心文を明確にして文章全体の論旨が分かりやすくなる段落構造を理解していない。 - 収集した資料を用いながら、論述の文章を展開する方法を理解していない。
	②情報の理解 (2)ア	収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを対比的に検討し、それぞれの情報との関係について理解している。	収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを検討し、理解している。	収集した資料の整理を通して、立場の違いによる主張や論拠の違い、問題意識の違いなどを検討していない。
	③情報の整理 (2)イ	- 情報の信頼性や、具体性・抽象度に加え、重要度にも注意しながら、資料の特徴を可視化して整理している。 - 選択した複数の図表を比較し、関連づけて分析を行い、推論できることを考えている。	- 情報の信頼性や、具体性・抽象度に注意しながら、資料の特徴を整理している。 - 選択した複数の図表を比較し、関連づけて分析を行っている。	- 情報の信頼性や、具体性・抽象度に注意しながら、資料を整理していない。 - 選択した複数の図表を比較し、関連づけて分析を行っていない。
思考・判断・表現	④題材の決定と情報収集 書(1)ア	- 多角的な視点で適切な図表を収集し、図表が表す内容を読み取り、整理している。 「SDGs」から収集した情報を整理したうえで、自分の興味・関心や問題意識に根差した適切なテーマを選んでいる。 - テーマに沿って、立場や主張に偏りがなく、多様な資料を収集している。 - 整理した資料の考察から、「問い」のかたちで論題の候補を箇条書きし、論じる視点や範囲を考えて論題を決定している。	- 多角的な視点で適切な図表を収集し、図表が表す内容を読み取っている。 「SDGs」から自分の興味・関心や問題意識に根差したテーマを選んでいる。 - テーマに沿って、多様な資料を収集している。 - 整理した資料の考察から、論題の候補を考え、論題を決定している。	- 多角的な視点で適切な図表を収集し、図表が表す内容を読み取っていない。 「SDGs」から自分の興味・関心や問題意識に根差したテーマを選んでいる。 - テーマに沿って、多様な資料を収集していない。 - 整理した資料の考察から、論題の候補を考えておらず、論題を決定していない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑤論点の検討 書（１）イ	- 各資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理して考察し、自分の視点と意見を明確にして立場を明確にしている。 - 現状の提示、意見の根拠など客観的証拠として資料を位置づけ、適切なデータを取捨選択している。	- 各資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理して考察し、自分の視点と意見を明確にしている。 - 現状の提示、意見の根拠など客観的証拠として資料を位置づけている。	- 各資料の主張や根拠、共通点や相違点、相互関係を整理して考察しておらず、自分の視点と意見を明確にしていない。 - 現状の提示、意見の根拠など客観的証拠として資料を位置づけていない。
	⑥表現の検討 書（１）オ	- 序論・本論・結論の構成に沿って、読み手が理解しやすいように、自分の意見を筋道立てて論述している。 - 解決案、改善案、提言などの自分の意見を、根拠を明確にして示している。 - 自分の意見の説得力を高めるために、接続表現や対比、引用・具体例や資料などを効果的に用いることを理解し、活用している。	- 序論・本論・結論の構成に沿って、自分の意見を筋道立てて論述している。 - 解決案、改善案、提言などの自分の意見を示している。 - 自分の意見の説得力を高めるために、接続表現や対比、引用・具体例や資料などを活用している。	- 序論・本論・結論の構成に沿っておらず、自分の意見を筋道立てて論述していない。 - 解決案、改善案、提言などの自分の意見を示していない。 - 自分の意見の説得力を高めるために、接続表現や対比、引用・具体例や資料などを活用していない。
	⑦学習への態度	テーマに沿って収集・整理した資料の考察から論題を設定し、資料に裏付けされた自分の意見が的確に伝わる文章構成を理解し、論述をしようとしている。	テーマに沿って収集・整理した資料の考察から論題を設定し、資料に裏付けされた自分の意見が伝わる論述をしようとしている。	テーマに沿って収集・整理した資料の考察から論題を設定しておらず、資料に裏付けされた自分の意見が伝わる論述をしようとしていない。

■「知識における作者性と構造化」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句うち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読(1) ア	・「ネット情報」と「本」、「情報」と「知識」のそれぞれの違いについて、本文中の対比的な表現を整理して指摘し、説明している。	・「ネット情報」と「本」、「情報」と「知識」のそれぞれの違いについて、本文中の対比的な表現を整理して指摘している。	・「ネット情報」と「本」、「情報」と「知識」のそれぞれの違いについて、本文中の対比的な表現を整理して指摘していない。
	④内容把握 読(1) ア	・「ネット情報」と「本」の質的な違いについて、「情報」と「知識」の違いや具体例を踏まえて読み取り、説明している。 ・「知識の構造」について、「ネット検索」との比較を読み取って理解し、説明している。 ・「ネット検索」の利点を整理したうえで、筆者の言う「よい読書」とはどのようなものかを読み取り、説明している。	・「ネット情報」と「本」の質的な違いについて、「情報」と「知識」の違いや具体例を踏まえて読み取っている。 ・「知識の構造」について、「検索システム」との比較を読み取って理解している。 ・「ネット検索」の利点を整理したうえで、筆者の言う「よい読書」とはどのようなものかを読み取っている。	・「ネット情報」と「本」の質的な違いについて、「情報」と「知識」の違いや具体例を踏まえて読み取っていない。 ・「知識の構造」について、「検索システム」との比較を読み取って理解していない。 ・「ネット検索」の利点を整理したうえで、筆者の言う「よい読書」とはどのようなものかを読み取っていない。
	⑤内容の解釈 読(1) オ	・「情報」と「知識」の違いについて、関連する文章や資料を相互に比較・分析して、筆者の主張についての解釈を深め、説明している。	・「情報」と「知識」の違いについて、関連する文章や資料を相互に比較・分析して、筆者の主張についての解釈を深めている。	・「情報」と「知識」の違いについて、関連する文章や資料を相互に比較・分析して、筆者の主張についての解釈を深めていない。
	⑥情報検討と考察 読(1) キ	・「情報」と「知識」の違いについて、関連する文章や資料を比較して得た情報を整理・分析し、自分の考えを深め、説明している。	・「情報」と「知識」の違いについて、関連する文章や資料を比較して得た情報を整理・分析し、自分の考えを深めている。	・「情報」と「知識」の違いについて、関連する文章や資料を比較して得た情報を整理・分析せず、自分の考えを深めていない。

	⑦情報の収集 書（１）ア	・「情報」と「知識」の違いについて図や表にまとめるために、本文や自身の経験から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・「情報」と「知識」の違いについて図や表にまとめるために、本文や自身の経験から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・「情報」と「知識」の違いについて図や表にまとめるために、本文や自身の経験から必要な情報を収集・整理せず、根拠となる題材を選んでいる。
主体的に学習に取り組む態度	⑧学習への態度	・筆者の述べる「ネット情報」と「本」の違いを踏まえ、適切なネット情報の捉え方について考えを深め、日常生活に生かそうとしている。	・筆者の述べる「ネット情報」と「本」の違いを踏まえ、適切なネット情報の捉え方について考えを深めている。	・筆者の述べる「ネット情報」と「本」の違いを踏まえ、適切なネット情報の捉え方について考えを深めていない。

■「アルゴリズムと偶然性」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。 「例示」を表す表現を整理し、それがもたらす表現の効果について理解し、説明している。	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。 「例示」を表す表現を整理し、それがもたらす表現の効果について理解している。	- 文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。 「例示」を表す表現を整理し、それがもたらす表現の効果について理解していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読(1) ア	アルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いについての筆者の主張を読み取り、「アルゴリズム」がどのようなものかを理解し、説明している。	アルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いについての筆者の主張を読み取り、「アルゴリズム」がどのようなものかを理解している。	アルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いについての筆者の主張を読み取り、「アルゴリズム」がどのようなものかを理解していない。
	④内容把握 読(1) ア	「私」に届くニュースについて、アルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いを読み取り、説明している。 - 本を買う場合において、「リアルのお店」と「通販サイト」の違いを読み取り、説明している。 「アルゴリズムは偶然性を排除する」とはどのようなことか、筆者の考えを読み取り、説明している。 - 人間関係においても、アルゴリズムが偶然性を排除しているという筆者の主張を読み取り、説明している。	「私」に届くニュースについて、アルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いを読み取っている。 - 本を買う場合において、「リアルのお店」と「通販サイト」の違いを読み取っている。 「アルゴリズムは偶然性を排除する」とはどのようなことか、筆者の考えを読み取っている。 - 人間関係においても、アルゴリズムが偶然性を排除しているという筆者の主張を読み取っている。	「私」に届くニュースについて、アルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いを読み取っていない。 - 本を買う場合において、「リアルのお店」と「通販サイト」の違いを読み取っていない。 「アルゴリズムは偶然性を排除する」とはどのようなことか、筆者の考えを読み取っていない。 - 人間関係においても、アルゴリズムが偶然性を排除しているという筆者の主張を読み取っていない。

主体的に 学習に取り組む 態度		・アルゴリズムが「賭け」と「責任」を排除するという筆者の主張の意味を読み取り、説明している。	・アルゴリズムが「賭け」と「責任」を排除するという筆者の主張の意味を読み取っていない。	・アルゴリズムが「賭け」と「責任」を排除するという筆者の主張の意味を読み取っていない。
	⑤内容の解釈 読(1)オ	・アルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いについて、関連する文章や資料を相互に比較・分析して、筆者の主張についての解釈を深め、説明している。	・アルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いについて、関連する文章や資料を相互に比較・分析して、筆者の主張についての解釈を深めている。	・アルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いについて、関連する文章や資料を相互に比較・分析して、筆者の主張についての解釈を深めていない。
	⑥情報検討と考察 読(1)キ	・アルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いについて、資料を収集・整理し、それらについて読み取って考察したことをまとめ、説明している。	・アルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いについて、資料を収集・整理し、それらについて読み取って考察したことをまとめている。	・アルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いについて、資料を収集・整理し、それらについて読み取って考察したことをまとめている。
	⑦情報の収集 書(1)ア	・自分の考えを文章にまとめるために、本文や他の文章から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・自分の考えを文章にまとめるために、本文や他の文章から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・自分の考えを文章にまとめるために、本文や他の文章から必要な情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。
	⑧根拠の検討 書(1)エ	・自分の考えを文章にまとめるために、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討し、説明している。	・自分の考えを文章にまとめるために、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討している。	・自分の考えを文章にまとめるために、多面的・多角的視点から自分の考えの妥当性を見直し、その適否について検討していない。
	⑨表現の検討 書(1)オ	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
	⑩学習への態度	・筆者の考えるアルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いについて読み取り、情報との向き合い方について考えを深め、日常生活に生かそうとしている。	・筆者の考えるアルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いについて読み取り、情報との向き合い方について考えを深めている。	・筆者の考えるアルゴリズムが働く場合とそうでない場合の違いについて読み取り、情報との向き合い方について考えを深めていない。

■「ホンモノのおカネの作り方」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③構成の把握 読(1) ア	・第一段の内容を理解し、文章全体との関係や双括型による構成の効果について理解し、説明している。	・第一段の内容を理解し、文章全体との関係や双括型による構成の効果について理解している。	・第一段の内容を理解し、文章全体との関係や双括型による構成の効果について理解していない。
	④キーワード把握 読(1) ア	・筆者の述べる「ホンモノのおカネ」とはどのようなものか、論旨をたどることで理解し、説明している。	・筆者の述べる「ホンモノのおカネ」とはどのようなものか、論旨をたどることで理解している。	・筆者の述べる「ホンモノのおカネ」とはどのようなものか、論旨をたどることで理解していない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・「ニセガネ」の本質について、偽造法の説明を踏まえて理解し、説明している。 ・「預かり手形」における「逆説の作用」とは何かについて読み取り、説明している。 ・貨幣の歴史の概略を読み取り、筆者の述べる「ホンモノの形而上学」について理解し、説明している。	・「ニセガネ」の本質について、偽造法の説明を踏まえて理解している。 ・「預かり手形」における「逆説の作用」とは何かについて読み取っている。 ・貨幣の歴史の概略を読み取り、筆者の述べる「ホンモノの形而上学」について理解している。	・「ニセガネ」の本質について、偽造法の説明を踏まえて理解していない。 ・「預かり手形」における「逆説の作用」とは何かについて読み取っていない。 ・貨幣の歴史の概略を読み取っていないか、読み取っていても、筆者の述べる「ホンモノの形而上学」について理解していない。
	⑥筆者の意図の解釈 読(1) エ	・筆者が貨幣の抽象性を示すにあたって用いた文章の構成や根拠について、その意図を推測し、表現の効果について評価したうえで、説明している。	・筆者が貨幣の抽象性を示すにあたって用いた文章の構成や根拠について、その意図を推測し、表現の効果について評価している。	・筆者が貨幣の抽象性を示すにあたって用いた文章の構成や根拠について、その意図を推測していないか、推測していても表現の効果について評価していない。

	⑦内容の解釈 読（１）才	・他教科での経済についての学習を整理したものと、筆者の主張を比較・分析したうえで、筆者の目的を推測し、内容の解釈を深め、説明している。	・他教科での経済についての学習を整理したものと、筆者の主張を比較・分析したうえで、筆者の目的を推測し、内容の解釈を深めている。	・他教科での経済についての学習を整理したものと、筆者の主張を比較・分析したうえで、筆者の目的を推測し、内容の解釈を深めていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑧学習への態度	・筆者の主張を踏まえて、抽象的な「貨幣」というものの本質について、経済の仕組みとともに理解を深め、説明しようとしている。	・筆者の主張を踏まえて、抽象的な「貨幣」というものの本質について、経済の仕組みとともに理解を深めようとしている。	・筆者の主張を踏まえて、抽象的な「貨幣」というものの本質について、経済の仕組みとともに理解を深めようとしていない。

■「未来のありか」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き・語彙 (1) アイ	・本文の語句について、指示された言葉の意味と働きを理解し、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方についても理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解している。	・本文の語句のうち、指示された言葉の意味と働きを理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解し、効果的な組み立て方を説明している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解している。	・文章の構成や表現、接続の仕方を理解していない。
思考・判断・表現	③構成の把握 読(1) ア	・小見出しを意識しながら各段落の内容をつかみ、筆者の主張の概略を押さえ、全体の構成を把握し、説明している。	・小見出しを意識しながら各段落の内容をつかみ、筆者の主張の概略を押さえ、全体の構成を把握している。	・小見出しを意識しながら各段落の内容をつかみ、筆者の主張の概略を押さえ、全体の構成を把握していない。
	④キーワード把握 読(1) ア	・筆者の述べる「未来」の意味について、論旨をたどることで理解し、説明している。	・筆者の述べる「未来」の意味について、論旨をたどることで理解している。	・筆者の述べる「未来」の意味について、論旨をたどることで理解していない。
	⑤内容把握 読(1) ア	・「未来」が個人の意識の中から、他者との間で共有されるという抽象的な筆者の考えを読み取り、説明している。 ・「未来」が「現在時の中」にのみ存在するという筆者の主張について、具体例を踏まえて読み取り、説明している。 ・「未来のリアリティ」を構成する三つの要素を整理して指摘し、それが社会における「未来」という言葉の意味であることを理解し、説明している。 ・「未来のありか」について、筆者の論の進め方を捉えることで、抽象的な内容を的確に読み取り、説明している。	・「未来」が個人の意識の中から、他者との間で共有されるという抽象的な筆者の考えを読み取っている。 ・「未来」が「現在時の中」にのみ存在するという筆者の主張について、具体例を踏まえて読み取っている。 ・「未来のリアリティ」を構成する三つの要素を整理して指摘し、それが社会における「未来」という言葉の意味であることを理解している。 ・「未来のありか」について、筆者の論の進め方を捉えることで、抽象的な内容を的確に読み取っている。	・「未来」が個人の意識の中から、他者との間で共有されるという抽象的な筆者の考えを読み取っていない。 ・「未来」が「現在時の中」にのみ存在するという筆者の主張について、具体例を踏まえて読み取っていない。 ・「未来のリアリティ」を構成する三つの要素を整理して指摘し、それが社会における「未来」という言葉の意味であることを理解していない。 ・「未来のありか」について、筆者の論の進め方を捉えることで、抽象的な内容を的確に読み取っていない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑥表現の意図の 解釈 読（１）エ	・「未来」が「現在時の中」にのみ存在するという抽象的な主張を述べるにあたり、紙面に写真資料が提示されている意図を推測し、その効果の理解し、説明している。	・「未来」が「現在時の中」にのみ存在するという抽象的な主張を述べるにあたり、紙面に写真資料が提示されている意図を推測し、その効果を理解している。	・「未来」が「現在時の中」にのみ存在するという抽象的な主張を述べるにあたり、紙面に写真資料が提示されている意図を推測し、その効果を理解していない。
	⑦情報検討と考察 読（１）キ	・筆者の主張する「未来のありか」の考え方を理解し、自分の考えを持ったうえで、「未来」に関連する文章や資料、他者との対話で得られた考え方などをもとに、自分の考えを再検討し、考察を深めている。	・筆者の主張する「未来のありか」の考え方を理解し、自分の考えを持ったうえで、「未来」に関連する文章や資料、他者との対話で得られた考え方などをもとに、自分の考えを再検討している。	・筆者の主張する「未来のありか」の考え方を理解し、自分の考えを持ったうえで、「未来」に関連する文章や資料、他者との対話で得られた考え方などをもとに、自分の考えを再検討していない。
	⑧情報の収集 書（１）ア	・筆者の主張を踏まえ、自分の考えを文章にまとめるために、資料や他の文章、自身の経験から必要な情報を的確に収集・整理し、明確な根拠となる題材を選んでいる。	・筆者の主張を踏まえ、自分の考えを文章にまとめるために、資料や他の文章、自身の経験から情報を収集・整理し、根拠となる題材を選んでいる。	・筆者の主張を踏まえて自分の考えを文章にまとめるために、資料や他の文章、自身の経験から情報を収集・整理していないか、整理だけにとどまり、根拠となる題材を選んでいない。
	⑨根拠の検討 書（１）エ	・多面的・多角的視点から自分の挙げた例とそれについての考えの妥当性を見直し、その適否について検討し、説明している。	・多面的・多角的視点から自分の挙げた例とそれについての考えの妥当性を見直し、その適否について検討している。	・多面的・多角的視点から自分の挙げた例とそれについての考えの妥当性を見直し、その適否について検討していない。
	⑩表現の検討 書（１）オ	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味し、表現の細部にまで注意を払っている。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味している。	・自分の考えを伝えるために的確な文章であるかを検討・吟味していない。
	⑪学習への態度	・「未来」についての筆者の考えを踏まえ、「未来」を生み出す社会意識やその前提となる自分の意志や営みの在り方について、考えを深め、説明しようとしている。	・「未来」についての筆者の考えを踏まえ、「未来」を生み出す社会意識やその前提となる自分の意志や営みの在り方について、考えを深めようとしている。	・「未来」についての筆者の考えを踏まえ、「未来」を生み出す社会意識やその前提となる自分の意志や営みの在り方について、考えを深めようとしていない。

■「やさしい日本語」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き (1) ア	・言葉の働きや役割について考え、目的や場面に 応じてより適切な言葉を用いるための方法 を理解し、説明している。	・言葉の働きや役割について考え、目的や場面に 応じてより適切な言葉を用いるための方法 を理解している。	・言葉の働きや役割について考えていないか、 考えていても目的や場面に応じてより適切な 言葉を用いるための方法を理解していない。
	②文章の構成 (1) ウ	・目的や場面に応じた文章の構成や表現、接続 の仕方を理解し、説明している。	・目的や場面に応じた文章の構成や表現、接続 の仕方を理解している。	・目的や場面に応じた文章の構成や表現、接続 の仕方を理解していない。
	③情報の整理 (2) イ	・対象によって、情報の具体・抽象の度合いや 重要度を絞り込み、資料の特徴を可視化する 方法を理解し、説明している。	・対象によって、情報の具体・抽象の度合いや 重要度を絞り込み、資料の特徴を可視化する 方法を理解している。	・対象によって、情報の具体・抽象の度合いや 重要度を絞り込んだり、資料の特徴を可視化 したりする方法を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読(1) ア	・「日本人に分かりやすい文章」について、ガイ ドラインから簡潔な文章にする方法を的確に 読み取って理解し、説明している。 ・日本語が母語ではない「外国人にも分かりや すい文章」について、日本人に対する文章と の違いをガイドラインからの的確に読み取った うえで理解し、説明している。	・「日本人に分かりやすい文章」について、ガイ ドラインから簡潔な文章にする方法を読み取 って理解している。 ・日本語が母語ではない「外国人にも分かりや すい文章」について、日本人に対する文章と の違いをガイドラインから読み取ったうえで 理解している。	・「日本人に分かりやすい文章」について、ガイ ドラインから簡潔な文章にする方法を読み取 って理解していない。 ・日本語が母語ではない「外国人にも分かりや すい文章」について、日本人に対する文章と の違いをガイドラインから読み取ったうえで 理解していない。
	⑤表現の特徴の 理解 読(1) エ	・ガイドラインの各項目の「やさしい」表現へ の書き換えの意図を理解したうえで、表現の 方法について、多面的・多角的な視点から検 討し、評価を説明している。 ・「問題」に取り組むにあたり、書き手の意図を 踏まえたうえで、ガイドラインに基づいて文 章の表現を検討し、適切な表現の仕方につい て評価し、説明している。	・ガイドラインの各項目の「やさしい」表現へ の書き換えの意図を理解したうえで、表現の 方法について、多面的・多角的な視点から検 討している。 ・「問題」に取り組むにあたり、書き手の意図を 踏まえたうえで、ガイドラインに基づいて文 章の表現を検討し、適切な表現の仕方につい て評価している。	・ガイドラインの各項目の「やさしい」表現へ の書き換えの意図を理解したうえで、表現の 方法について、多面的・多角的な視点から検 討していない。 ・「問題」に取り組むにあたり、書き手の意図を 踏まえたうえで、ガイドラインに基づいて文 章の表現を検討し、適切な表現の仕方につい て評価していない。

主体的に 学習に取り組む 態度	⑥学習への態度	・「やさしい日本語」の必要性を理解したうえで、自分自身の文章表現の仕方を振り返り、分かりやすい文章を書く学習に積極的に取り組み、意識を高めようとしている。	・「やさしい日本語」の必要性を理解したうえで、自分自身の文章表現の仕方を振り返り、分かりやすい文章を書く学習に、積極的に取り組んでいる。	・「やさしい日本語」の必要性を理解したうえで、自分自身の文章表現の仕方を振り返り、分かりやすい文章を書く学習に、積極的に取り組んでいない。
-----------------------	---------	---	--	---